



平成27年6月30日

各 位

上場会社名 津田駒工業株式会社
 代表者 代表取締役社長 高納 伸宏
 (コード番号 6217)
 問合せ先責任者 専務取締役総務部長 竹鼻 達夫
 (TEL 076-242-1110)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成27年4月13日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成27年11月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	17,600	△200	△200	△200	△3.13
今回修正予想(B)	17,300	△300	△300	△300	△4.69
増減額(B-A)	△300	△100	△100	△100	
増減率(%)	△1.7	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年11月期第2四半期)	18,943	△544	△576	△566	△8.86

平成27年11月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成26年12月1日～平成27年5月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	16,200	△50	200	150	2.35
今回修正予想(B)	15,900	△220	100	100	1.56
増減額(B-A)	△300	△170	△100	△50	
増減率(%)	△1.9	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成26年11月期第2四半期)	17,975	△450	△430	△444	△6.96

修正の理由

(連結)

当第2四半期におきましては、市況の改善に加え、積極的に進めてまいりましたコスト削減や価格改善などの効果が表れ始め、利益を確保することができました。

繊維機械事業では、売上は概ね計画通りに推移し、損益面では当初計画に比べ改善いたしました。一方、工作機械関連事業では、市場の回復基調の中で需要は回復してまいりましたが、自動車産業の設備投資計画の遅れなどから売上、利益面ともに当初見込んでおりました伸びには至りませんでした。

このため、第2四半期(累計)では第1四半期の落ち込みをカバーするには至らず、誠に遺憾ながら当初計画を下回る見通しとなりました。

このような状況から、第2四半期(累計)連結業績予想に関しましては、売上高17,300百万円、営業損失300百万円、経常損失300百万円、四半期純損失300百万円に下方修正いたします。

(個別)

業況につきましては上記の通りでございます。

第2四半期(累計)の売上高は15,900百万円、営業損失220百万円、経常利益100百万円、四半期純利益100百万円に修正いたします。

なお、通期の業績予想につきましては、第2四半期決算発表時(平成27年7月13日予定)に改めて公表いたします。

(注)上記の予想は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

以上